

# 奥武蔵吾野八徳川ボルダー

平成31年4月8日 RCT/K

暫く実家に帰省しており、先日一時帰京した。少し時間が取れ、この冬から春にトライした八徳川のボルダーを纏めたので紹介したい。

昨年の初冬の頃、久しぶりに吾野から八徳に続く道を車で通った。その際、夏季には湿ってあまりトライしようと思わなかったボルダーを気になって再確認してみた。植林帯の中で、苔が多く、掃除が大変そうに見えたが、よく乾燥しており、意外と楽しめそうなので、そのうちに時間が空いたらトライしてみようと思い帰宅した。

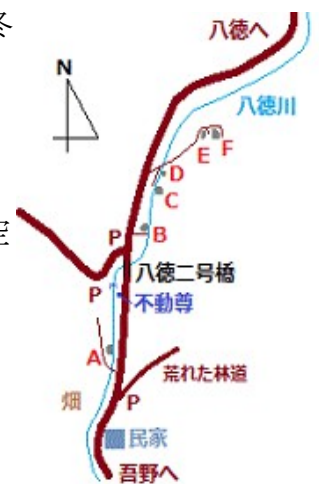
その後、秋川の障子岩の整備などで時間が取られてしまい、あまり行けなかったこと、さらに各ボルダーの掃除が大変だったこともあり、数回訪れたが、課題へのトライ時間は微々たるものであった。

今年に入ってから、なかなか行く機会がなく、結局2月中旬以降になってようやく再訪し、エリアとして纏まったものとする事ができた。

ボルダーは大小6個ほどあり、岩質はチャートで、一部を除きしっかりしている。難しい課題はないが、下地が不安定なところもあるので、クラッシュパッドは必ず使用したい。

アクセスは国道299号の吾野から長沢方面に入り、すぐ右から入る顔振峠方面の道を見送り、高山不動尊方面に暫く進むと、八徳方面と高山不動尊方面の分岐になるので八徳方面に進む。民家が途切れると植林帯の中の道となるが、直ぐにAボルダーが左の川の中に見える。駐車は民家の先で右から荒れた林道が入ってくるので、待避所を確保するため少し奥まで入れ駐車する。さらに進むと八徳二号橋を渡り、その先で左に道を分ける。BからFまでのボルダーはこの付近に端に寄せて駐車することになる。

アプローチは地図を参照。EとFボルダーは、対岸の車道辺りからも行けるが、Dボルダーへのアプローチから左岸の植林帯を行った方が道は良い。



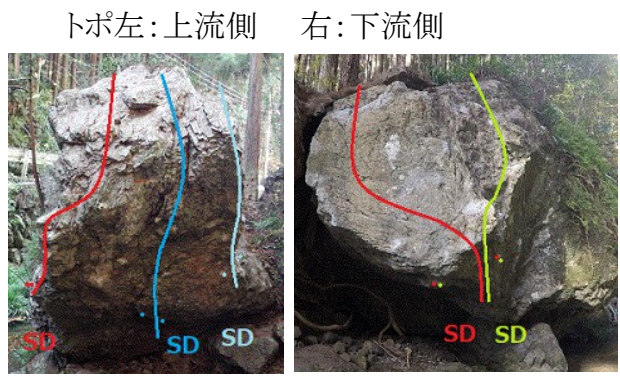
## 《課題紹介》

### ●万両岩 (A ボルダー)

民家が途切れた先の川底にある、上下流にハングを持つ岩。下流側の木の根の下にマンリョウがあったので、このネーミング。

下流側の赤ラインは課題名「マンリョウ」で、ムーヴが面白い。

上流側の青ラインは課題名「センリョウ」で、ホールドがボロボロで崩れそうだったのでセメントで一部固めてある。

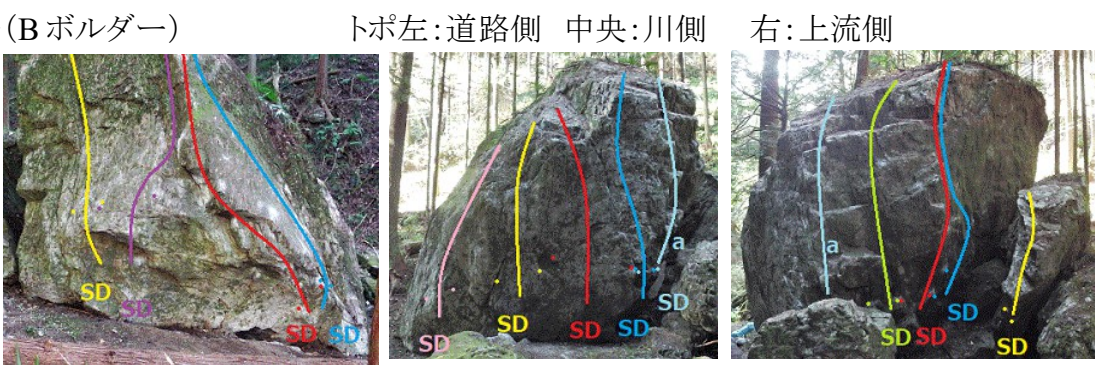


### ●木漏れ日岩 (B ボルダー)

2.5m 程のボルダー。

木漏れ日の射す雰囲気心地良い。

道路側の赤ライン(課題名: 木漏れ日)、川側の黄、赤、青ライン辺りが楽しめる。



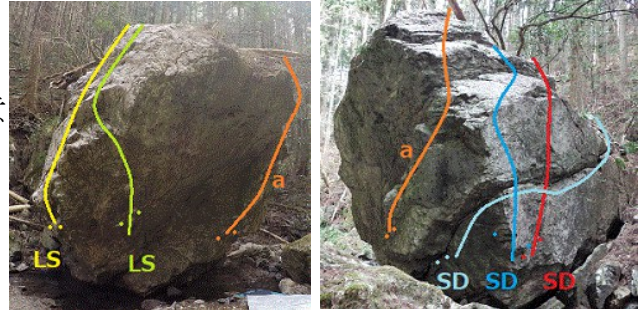
●C ボルダー

高さ4m強のハイボール。

黄緑、青、赤ライン辺りが楽しめるが、下地が川だったり石が出ていたりあまり良くないので注意が必要。

川側の中央辺りは、抜け口を掃除すれば課題ができそうである。黄色か黄緑ラインのスタートから入れば面白そう。

トポ左:道路側(川側) 右:下流側



●D ボルダー

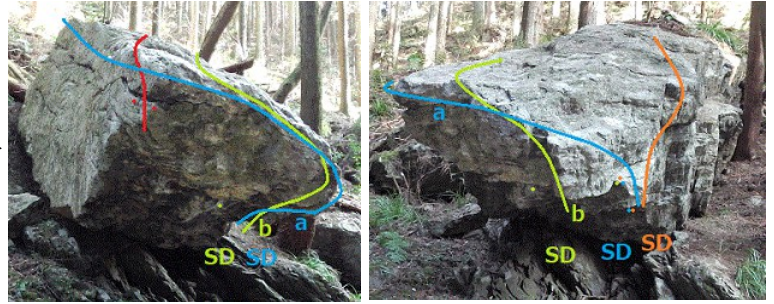
小さなボルダーだが、ハングしていて面白い。

赤ラインのSD課題は未解決。

この岩は意外と苔が少なかった。既に誰かがトライ済みか？

下流側から上流側にリップトラヴァースする青ラインがパワフルで面白い。

左:上流側 右:下流側



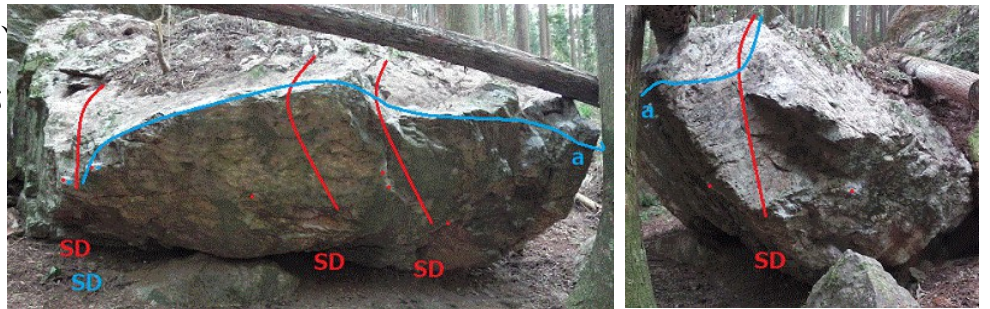
●E ボルダー

横に長いボルダーで、高さはない。

岩の上に杉の倒木が載っている。

青ラインのトラヴァースは最後の角を回るところに杉の木があるので、どう寄りかからずに避けて回り込むかがポイント。

トポ左:西面 右:南面



●F ボルダー

Eボルダー上のハイボール。

特に難しい課題はないが、高さがあり、少々脆いところがある。だいたいの浮石を落としたが、一応注意が必要。

トポ左:北面 中央:西面 右:南面

